



ほけんだより・6月



令和5年5月31日
四つ木なかよし保育園
看護師

梅雨の季節がやってきました。この時期は、急に暑くなる日があったり、肌寒い日があったり、と体調を崩しがちです。衣服の調整にはいつも以上に気を配るようにしましょう。バランスのよい食事や睡眠をしっかりととり、元気に過ごしていきましょう。

中耳炎

急性中耳炎

発熱、耳の痛み、耳だれなどの症状が見られます。機嫌が悪い、耳をよく触る、耳を触ると嫌がる、かぜが治っても熱が下がらない・・・などの症状が見られる場合は急性中耳炎を疑ってみましょう。

滲出性中耳炎

鼓膜の奥に液体が溜まる病気で、3～10歳に多く見られます。発熱や痛みがなく、聞こえにくいことが唯一の症状のため、発見が遅れる場合があります。耳の聞こえに異変があるようなら、早めに耳鼻科を受診しましょう。



RSウイルス感染症

4～5日の潜伏期間の後、鼻水、咳、発熱などのかぜに似た症状が現れます。通常は1週間前後で回復しますが、なかには肺炎や気管支炎を発症する子どももいます。症状が軽い場合は、かぜを引いた時と同様、水分補給、睡眠、栄養、保温に注意し、安静にして経過を見ましょう。



★園内で、発熱・咳・鼻水が流行しています。
登園しても良いか等、判断に迷う場合は、登園前に電話連絡をよろしくお願いします。

梅雨の時期の注意点

■食中毒

食中毒は6月から9月頃にかけて多く発生します。嘔吐を繰り返す時や、激しくおなかを痛がる時は、すぐに病院に行きましょう。

■事故

雨の日は傘をさすことで視界が悪くなり、事故の危険性が高まります。また、雨で滑りやすく、転びやすくなりますので十分に注意してください。

■かぜ

蒸し暑さから汗をかくことが増えますが、朝夕は気温が下がり寒くなります。汗をかいたらすぐに着替え、寒くなったら上着などで体温調節を行うようにしてください。



虫よけ対策



子どもは皮膚の抵抗力が弱いので、虫刺されが原因で、とびひになってしまうことがあります。刺された部位の腫れや痒みが強いときは、病院で診てもらいましょう。登園前に虫よけを行ったり、露出の少ない洋服の着用など、自宅でもできる簡単な虫よけ対策をお願いします。

*貼るタイプの虫よけテープは、誤飲の心配があるため、園での使用は禁止とさせていただきます。

★保育園ではお散歩前に、「イカリジン」という子どもにも安心して使用できる、優しい虫よけ成分が入ったものを使用しています。

虫に刺されてしまったら。

園では流水で洗うことや、保冷剤で冷やします。痒みが強かったり、掻きこわしてしまう時は、かゆみ止め(レスタミン軟膏)を塗ることもあります。

●0歳児健診(もも組)

6月21日(水) 11時頃

体調不良時は無理せずに欠席をお願いします。

●5月の欠席状況理由

発熱・鼻水・咳・腹痛・中耳炎・RSウイルス